

## 水産物来週の見通し（1/17～1/22）

### 【鮮魚の概要】

高級は、どれも水揚げ減少により、浜高傾向。  
近海は、道東で真ダチの水揚げ量が増加。魚卵（すけ子など）も見え始めた。  
大口は、カレイの時期が本格化。

### 【主要品目】

鮮マグロ⇒養殖本マグロ主体の入荷ですが、メバチ輸入、国産少々あり。

ホタテ ⇒来週は、噴火湾、標津、野付の水揚げで、数量は多くなく、海外向けの引き合いが強いため、相当な高値予想。

ホッキ ⇒苫小牧、噴火湾、道東での水揚げ。水揚げ数量は安定するが、時化の影響で高値予想。

ウニ ⇒北方四島での水揚げ。高値安定。物量が少なく品薄。

貝ツブ ⇒噴火湾、オホーツク枝幸で水揚げ。数量少なめで、浜値高騰。

キンキ ⇒根室、斜里での水揚げ。羅臼は海明けまでなし。水揚げ少なく浜高推移。

ヒラメ ⇒日本海方面水揚げ多め、価格低め。

毛ガニ ⇒広尾、白糠水揚げで、少量を予想。高値傾向。

カレイ ⇒真かかれい、黒かかれい共に網揚げのため、数量少なめ。価格は高値傾向。

やりいか⇒青森、八戸での水揚げ。水揚げ多めのため価格は下げ相場。引き合い強め。

秋鮭 ⇒函館、噴火湾、三陸少々。価格不安定。

アサリ ⇒厚岸、根室中心。共に内地への引き合いが強いため価格はかなり高騰。

エビ ⇒南蛮えびは水揚げ増加傾向で浜値は横ばい。ぼたんえびは、水揚げ、浜値ともに横ばい。